

市教育委員会は、五月一日、市指定文化財に、新たに三件の有形文化財を指定しましたのでお知らせします。



▶木造愛染明王坐像

歴史資料

○木造愛染明王坐像Ⅱ 平下神谷 神照寺所有
十六世紀末のいわき地方における、造像の基準的の例として貴重な資料です。
また、在地領主層で寺の大旦那であった、岩城貞隆と好間隆家が一緒に作らせたことから、造像遺品として



木造青岑珠鷹禪師坐像

て歴史的に高く評価されています。

○木造青岑珠鷹禪師坐像Ⅱ 平下荒川 龍門寺所有
十七世紀に玄慶によって作られたものです。
中央仏師の作風らしく、整った造形をしており、彩色も丁寧に仕上げられています。

像底の銘記により、造立に当たっては、当時、磐城平藩主・内藤義泰（義概）の室（配偶者）や家老・松賀概純の室による寄附があったとされています。銘記部分に漆塗りが施さ



漆塗りの銘記



木造宝篋印塔

れていることは珍しく、銘記の筆者が磐城平藩の儒臣・葛山為篤であることもその価値を高めています。
曹洞宗のいわき地方の本山である、龍門寺開基の肖像の造立に、藩主や家老の室が尽力していたことがうかがえる、貴重な歴史資料です。

建造物

○木造宝篋印塔Ⅱ 鹿島町久保 金光寺所有
銘文の年号から、十四世紀前半の文保時代の宝篋印塔と推測されています。相輪の受け花は仏像の蓮

台風に仕上げられ、宝輪は一つずつ丁寧に彫り込んで仕上げられています。さらに、隅飾りが板状になっていることから、古い造立であることが分かります。
木造であることは大変まれで、貴重な建造物です。
◆ ◆ ◆
今回の指定により、市内にある市指定文化財は百八十二件となりました。

○お問い合わせ
文化・スポーツ課
文化財係
☎22・7546

第24回危険業務従事者叙勲

同叙勲は、警察官や自衛官、消防吏員など著しく危険性の高い業務に精励した方に贈られるものです。

市内からは、次の7人の方々が受章されました。

＝年齢は4月29日現在。50音順・敬称略＝

瑞宝双光章

- ▷氏家忠儀(71)=元県警警部 平下荒川
- ▷藤田孝雄(70)=元県警警部 中央台高久
- ▷山川栄勝(67)=元市消防監 小島町
- ▷若松 剛(65)=元市消防監 平南白土

瑞宝単光章

- ▷小玉義一(61)=元3等空尉 錦町
- ▷佐藤 博(70)=元県警警部 東田町
- ▷笈田常春(61)=元3等海尉 植田町



平成26年度消防庁長官表彰

同表彰は、消防業務に長年従事し、その勤務成績が優秀で、他の模範と認められる現職の消防団員等を表彰するものです。

＝支団別(受章時の年齢、所属、階級)・敬称略＝

- ▷草野孝平(60)=第1支団分団長 平赤井
- ▷草野 健(59)=第1支団分団長 平上荒川
- ▷鈴木好男(62)=第1支団副分団長 平下高久
- ▷大竹貞雄(63)=第2支団分団長 渡辺町
- ▷鈴木良次(58)=第2支団分団長 小名浜
- ▷梅川秀明(62)=第2支団副分団長 江名
- ▷遠藤重和(57)=第2支団副分団長 渡辺町
- ▷森 一誠(53)=第3支団分団長 岩間町
- ▷国井康浩(56)=第3支団分団長 勿来町
- ▷芳賀瑞房(58)=第3支団副分団長 田人町黒田
- ▷丹野正彦(58)=第4支団副支団長 常磐長孫町
- ▷鈴木邦夫(57)=第4支団分団長 常磐岩ヶ岡町
- ▷高木秀剛(61)=第5支団部長 内郷高坂町
- ▷吉田一富(60)=第6支団分団長 川前町下桶売
- ▷會田哲之(54)=第7支団副分団長 四倉町玉山
- ▷柳井和行(58)=第7支団副分団長 大久町大久

屋根等貸し事業における太陽光発電システム稼働式を開催

環境企画課環境企画係 ☎22-7528

3月20日、久之浜中学校で、公共施設の屋根等貸し事業における、初の太陽光発電システムの稼働式を実施しました。

当事業は、太陽光発電事業を行う事業者に対し、有償で公共施設の屋根などの使用を許可するもので、民間活力による公共施設への再生可能エネルギーの導入拡大や、導入施設における自主財源の確保、ならびに地域産業の振興を目的として実施しています。



表彰 いわき市民芸術文化栄誉賞

4月7日、石井敦子さん（磐城桜が丘高校3年）に市民芸術文化栄誉賞を授与し、その活躍をたたえました。

石井さんは、2月28日に東京都で行われた「NHKのだ自慢チャンピオン大会2015」に出場し、民謡「会津磐梯山」を歌い、最高賞のグランドチャンピオンに輝きました。



アリオスでの表彰式（左から2人目が石井敦子さん）